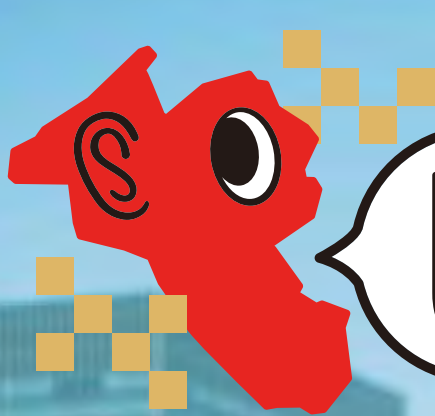
顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。

しぶや区ニュース

平成29年（2017年）1月1日
No.1350
発行｜渋谷区
編集｜広報コミュニケーション課
住所｜〒150-8010 渋谷1-18-21
電話｜03-3463-1211（代表）
公式HP｜www.city.shibuya.tokyo.jp/
公式Twitter｜@city_shibuya

多様を受け入れ、つながること。「ちがい」が輝きに変わる、渋谷区のこれから。

（左）東ちづるさん　（右）長谷部区長

★渋谷区役所は庁舎建替えのため、仮庁舎へ移転しています　移転先▶渋谷1-18-21

新しい「渋谷区基本構想」ができました

28年10月に区議会の議決を得て、未来像を「ちがいを　ちからに変える街。渋谷区」とする、区の新たな基本構想を策定しました。
基本構想は、これからの渋谷区がどんなことを大切にし、どんな方向へ進んでゆこうとしているのか、そのおおもととなる考え方のことで、20年後の区のビジョンを描くものです。世界を惹きつける魅力的な都市であり続けるために、渋谷にしか掲げられない新たな基本構想をつくりました。
※以下、本文中で*がついている言葉は、3ページ下部の注釈を参照してください。

渋谷区の未来像

ちがいを ちからに 変える街。渋谷区

渋谷は世界を変える。
いや、「渋谷が」世界を変える。
本気でそう信じてみよう。

この街に存在する
ありとあらゆる人間を、仕事を、価値観を、
ドラマを、チャンスを、祝福しよう。
それらがさまざまであることを、
それゆえに生まれる熱を、愛そう。

ちがっている、ということは、かけがえない。
それは未来を動かす力になる。

それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。
あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。
思わず身体を動かしたくなる街へ。
人のつながりと意識が未来を守る街へ。
愛せる場所と仲間を、誰もがもてる街へ。
あらたな文化を生みつづける街へ。
ビジネスの冒険に満ちた街へ。

街にかかわる人がひとり残らず、
自分の人生を謳歌できる。
そんな渋谷区を、あなたといっしょにつくりたい。
混ざり合って生まれる価値こそが
それを可能にするのだと、この街で証明してゆこう。

基本構想を貫く3つの価値観

1 渋谷区はどこへ向かうのか

渋谷区が目指すのは、規模こそ異なるものの、ロンドン、パリ、ニューヨークなどと並び称されるような『成熟した国際都市』です。ここでいう成熟とは、高度な国際競争力と強烈な地域性とを兼ね備えてゆくこと。そして、区民自身が誇りをもってそこで暮らせること。これらはすべて、世界から注目され愛される街の条件だと考えます。

2 渋谷区はどうやって向かうのか

成熟した国際都市へと進化してゆくために、渋谷区は「ダイバーシティとインクルージョン」という考え方を大切にします。
この地上に暮らす人々のあらゆる多様性(ダイバーシティ)を受け入れるだけにとどまらず、その多様性をエネルギーへと変えてゆくこと(インクルージョン)。人種・性別・年齢・障害を超えて、渋谷区に集まるすべての人の力を、まちづくりの原動力にすること。
つまり「街の主役は人」だというのが、この考え方の本質なのです。

3 渋谷区には何が必要か

どんなに技術が進歩しようとも、つながりを求める人の心と、お互いに支えあうことの必要性は普遍なものと考えます。誰もが誰かと助け合える。そうした「共助」の人間関係を不可欠なものと考えます。
また、渋谷区にかかわる人々の人生の豊かさを、永続的に続いてゆくものにしたい。そのため、全編において「サステナビリティ*1」の視点を大切にします。

分野別基本構想

A 子育て・教育・生涯学習

それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。

あらゆる人は、「育つ人」であると同時に「育てる人」になり得ます。人生のどんなステージにおいても、です。
人種・性別・年齢・障害の有無を問わずすべての人が一生を通じて、育つことと育てること、教わることと教えること、そのそれぞれに喜びを感じられるように。渋谷区は、ダイバーシティ&インクルージョン教育*2の先進都市を目指します。

■ 子どもはつまり、未来です。

この街で子どもを産みたい、育てたい。そう思えるほどの安心と喜びを約束します。出産前から、子どもが成長した後に至るまで、子育てを切れ目なく支援する街になりたい。
また、子どもたちのなかに眠っている多様な可能性は、社会の希望そのもの。その可能性を最大限に引き出すために、乳幼児の時期からの先進的教育を追究していきます。
育児も教育も、この国の未来を育てることにほかならないのです。

■ この世界は、学びであふれています。

さまざまな彩りに満ちたこの世界を、そして人間の多様性を、誰もが学び愛せるように。学校でも学校以外でも、多彩な人材を教育に巻き込む機会と仕組みをつくっていきます。できるだけさまざまな人に、教えるチャンスと教わるチャンスの両方を提供してゆくこと。これは、生涯学習をより多様で豊かにしてゆく考え方でもあります。

B 福祉

あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。

どんな人をも、社会から孤立させないこと。児童、高齢者、障害者、生活困窮者、認知症の人など、誰もがこの社会にとって大切な一人ひとりだからです。すべての人々が支え合い、どんな人でも自分らしく生きていける共生の街をつくる。そのために、生活支援サービスをこれまで以上にととのえつつ、渋谷区は福祉のあらたな仕組みをつくっていきます。

■ 福祉は、創造力を秘めています。

ひとつめの鍵になるのは、福祉という概念に対する人々のイメージを変えること。「こころのバリアフリー」にとどまらず、社会を進化させる福祉とは何か、未来を明るくする福祉とは何か、産業や文化をつくるヒントになる福祉とは何か。それらを渋谷区が率先して追求、実践していきます。

■ つながりをつくる、という福祉。

ふたつめの鍵として、「共助ネットワーク」を提唱します。人種・性別・年齢などの壁を越え、人と人が助け合いやすい地域環境や仕組みを、民間企業やNPOなどとも手を組みながらととのえていきたい。こうしたつながりは、あらゆる個人や家族を支える基盤として機能させていきます。

〈世帯と人口〉世帯:134,723　人口:222,480(男:106,821　女:115,659)　[うち外国人:9,949(男:5,438　女:4,511)]　※平成28年12月1日現在

C 健康・スポーツ

思わず身体を動かしたくなる街へ。

長生きできる街であると同時に、長生きしたくなる街になりたい。
運動の習慣が人々の生活の一部になり、誰もが楽しみながら健康を保っていけるように。渋谷区は、渋谷区自身を「15㎢の運動場」と捉え、日常的な運動も、楽しみで行うスポーツも、すべてが暮らしに溶け込むようなまちづくりを進めていきます。

■ 暮らすことは、動くことだから。

運動することを、特別な行為ではなく、生活習慣の一部にしたい。そのために、渋谷区独自の起伏に富んだ地形や多彩な街並、さまざまな公共空間などを、住む人・訪れる人の運動の機会として、つまりは健康の機会として整備していきます。
また、医療機関同士の連携をもっと強める、健康面での危機管理の仕組みを充実させるなど、地域の保健・医療の基盤を確かなものにすることで、すべての人がより安心して暮らせる街にしていきます。

■ スポーツにかかわれない人は、いません。

できるかぎり多様な種類のスポーツを受け入れ、応援する街を目指します。種目のメジャーかマイナーかを問いません。
誰もがプレイヤーとして、あるいは観客として、なんらかの形でスポーツに参加できる機会をつくりたい。これによって渋谷区を、祝祭性と高揚感の絶えない街にしていきます。

D 防災・安全・環境・エネルギー

人のつながりと意識が未来を守る街へ。

住む人や訪れる人に、等しく安心と安全を約束するためにも。そして快適な都市環境を、無理なく維持するためにも。渋谷区は、「しなやかでタフ」な街になりたいと考えています。柔軟で、丈夫で、そして長続きする都市です。
このとき問われるのは、人々の意識や知見や技術の力。多様な人間で満ちていることが、都市の強度や、環境のサステナビリティ[*1]に結びついてゆく。そんな街を目指すのです。

■ つながりの強さこそ、街の強さです。

防災をいかに強化するかだけでなく、災害時に、いかに柔軟に都市を回復させるか。犯罪などの危険から、いかに一人ひとりを守るか。
安心や安全のもとになるのは、人と人の連携です。それぞれの地域における「他人」同士が日頃からどれだけつながっているか、がものをいうのです。
渋谷区は、災害や犯罪に強い都市基盤整備だけでなく、こうした日常的なつながりをととのえていきます。

■ サステナビリティ[*1]を、一人ひとりの問題に。

持続可能な環境を実現するいちばんの力は、一人ひとりの日々の暮らしを愛する気持ち。そしてそれを守りたいというモチベーション[*3]です。
ごみについてもエネルギーについても、渋谷区にかかわるすべての人が、自分の生活と街の環境を地続きのものとして考えられるように。まずは毎日のごみを減らす、エネルギーを節約するといった身近な取り組みを盛り上げたい。さらに低炭素のまちづくりを通して、渋谷区は人々の意識をひとつにしていきたいと考えています。

E 空間とコミュニティのデザイン

愛せる場所と仲間を、誰もがもてる街へ。

住む人、働く人、訪れる人、これから訪れるかもしれない人、いずれにとっても、かかわりたくなる「場所」と「仲間」がある街。それこそが、末永く世界に愛される街だと考えます。
渋谷区は、区内にあるさまざまな空間を、さまざまなコミュニティの拠点として開発していきたい。渋谷区にかかわる多様な人々と手を組みながら、既存の空間にあらたな価値を見出したり、まだなかった場所をつくり出したり。目指すのは、コミュニティの多様化と成長です。

■ 渋谷区には、いくつもの渋谷がある。

区内には、多彩な表情をもった地域が共存しています。東京の最先端を象徴する地域、ファッションをリードする地域、昔ながらの人情味あふれる地域、閑静な住宅地域など、地域にも多様性があるのです。それぞれの魅力を再発見し、最大限に引き出す空間づくりを行います。
コミュニティ活性化のためには、移動のしやすさ、滞在のしやすさを担保する交通環境の整備もすすめていきます。

■ 渋谷区のコミュニティは、世界のコミュニティへ。

ゆくゆくは区内のすべての地域に対して、世界中にファンができるように。そのためにはそれぞれの空間における多様なコミュニティ活動の様子が、全世界に開かれていることが大切です。渋谷区は、各地域、各コミュニティからの絶え間ない「発信」を可能にする仕組みをととのえます。

F 文化・エンタテイメント

あらたな文化を生みつづける街へ。

渋谷という街でなければ生まれ得なかった文化潮流があります。自由でとらえどころがなく、だからこそ可能性に満ちた渋谷のこの文化的多様性そのものを、渋谷カルチャーと呼びたい。いわば「文化を生みつづけるという文化」です。
世界中の人々がかつてなく東京に集まってくるなかで、文化の掛け算はいっそう加速するはず。渋谷区はその掛け算を誘発する、文化のスクランブル交差点としてのまちづくりをすすめます。

■ ファッションと、音楽と、その先へ。

「ファッション」と「音楽」は、かつて渋谷区が大きな潮流を生み、また牽（けん）引してきた分野です。このDNAをあらためて進化させ、渋谷を世界で最も活気のある「ファッションの街」「音楽の街」に育てていきます。それ以外の分野においても、常にさまざまな文化的可能性を見出し、応援し、育てる街でありつづけます。

■ 渋谷区すべてを、エキシビション[*4]と考える。

表現・創作にかかわるすべての人にとって、いつまでも刺激的な街でありつづけられるように。この街でおこなわれる文化活動の現在を、世界に向けて絶えず発信していかねばなりません。そのことで、渋谷はエンタテイメントシティ[*5]としても発展してゆくのです。伝統文化・伝統芸能などにも、これによって新たな角度から光が当たることになります。

G 産業振興

ビジネスの冒険に満ちた街へ。

渋谷区は、大きなビジネスと小さなビジネスが、理想的に協働する街を目指します。ビジネスの種類、規模、顧客が多様であればあるほど、世界を変えるイノベーション[*6]は生まれやすくなるからです。
どんなビジネスにも冒険のチャンスがあります。一歩目を踏み出す勇気と、何度でも挑める意欲を与えつづけたい。そんな考えのもと、あらゆる産業人を支援する体制をととのえていきます。

■ 新しいビジネスといえば渋谷、になる。

これからあらたなビジネスを立ち上げようと思った人が、その拠点の第一候補地に挙げる場所。そんな街になるために渋谷区は、まだ誰も試みたことのないビジネスや、実験的なプロジェクトを積極的に後押ししていきます。もちろん国内だけでなく、世界中からの参入を歓迎します。そしてこうしたビジネスの自由を目指せばこそ、どこよりも「消費者が安心できる街」にしていきます。

■ 観光地として新鮮でありつづけること。

中小企業や個人商店がのびのびと活動できる街でありつづけたい。また、業種や規模を問わず、渋谷独自の地域性に密着した産業、会社、商店をいっそう応援していきたい。
そのなかから、「渋谷に来なければ体験できないこと」が次々に生まれてくる。それらをあらたな観光資源とし、観光産業じたいをも、かつてなく充実させていきます。

＊1 サステナビリティ…持続可能性。持続することができる。／＊2 ダイバーシティ&インクルージョン教育…子どもが一人ひとりちがい（個性）を持った唯一無二の存在であることを当たり前の前提として、すべての子どもを包み込み、その中で子どもたちがそれぞれの個性・考え方を発揮しながら参加できる教育の実践。／＊3 モチベーション…ものごとに取り組む意欲・動機のこと。／＊4 エキシビション…公開。展示。展覧会。／＊5 エンタテイメントシティ…区民、来街者など、人々を楽しませる施設・文化・芸術などに満ちた街。／＊6 イノベーション…革新、または新機軸を打ち出すこと。

問経営企画課基本計画担当主査（☎3463-1589 FAX5458-4973）

1月17日は防災点検の日

首都直下地震に備え、日頃の防災対策を点検しましょう

家庭や地域でいますぐ点検しよう

1 家具類の転倒・落下・移動やガラスの飛散を防止する

家具や照明器具を、壁や床、天井などに金具で固定します。金具を使えないときは、ポール式、ストッパー式などの器具を使用しましょう。食器棚や窓ガラスには、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

■家具転倒防止金具の購入費用を補助します

家具転倒防止金具（ポール式、ストッパー式、マット式など）の購入費用を1世帯につき10,000円を上限に補助します。
▶**対象**　区内在住の世帯　▶**申込**　必要書類（チラシ・HP参照）を防災課へ持参または郵送

〈家具転倒防止金具などの一例〉

ポール式
家具類と天井の間にポールを突っ張って固定します。

扉開放防止器具
観音開きの食器棚などに取り付けます。

ガラス飛散防止フィルム
窓や食器棚のガラス面に貼り、破片が飛び散るのを防ぎます。

■家具転倒防止金具を無料で取り付けます

家具転倒防止金具（L型金具、ベルト式、ストッパー式、ポール式など）の取り付け、ガラス飛散防止フィルムの貼り付け、家具の移動を、家具3点まで無料で行います（対象外あり）。

▶**対象**　区内在住で、次のいずれかに該当する世帯
- 単身の高齢者（65歳以上）世帯または高齢者のみの世帯
- 寝たきりの高齢者がいる世帯
- 「身体障害者手帳1～3級」「愛の手帳1～3度」「精神障害者保健福祉手帳1･2級」のいずれかを持つ人がいる世帯

▶**申込**　ハガキに必要事項（チラシ・HP参照）を記入し、防災課へ郵送
※後日、区の契約業者が事前に連絡の上、自宅へ伺います。

2 自宅での避難生活に備え、必要なものを用意する

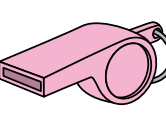
自宅での避難生活に備え、「水」「食料」「トイレ用便袋」を3日～1週間分用意しましょう。また、ライフラインの停止や物資輸送の遅れに備え、家庭で必要なものを用意しましょう。

〈各家庭で必ず用意するもの〉

水
飲料水だけでも、1人1日3ℓ、3日分で9ℓ必要です。生活用水には、くみ置きの風呂水などを活用しましょう。

（例）スーパー保存水
5年保存、1.5ℓ×8本組
2,073円（税・送料込み）

食料
アルファ米、レトルト食品、缶詰などを用意し、定期的に消費しながら買い足しましょう。

（例）アルファ米（わかめごはん）
5年保存、1食分×5袋
1,566円（税・送料込み）

トイレ用便袋
断水で自宅トイレが排水できない場合に備え、便器にかぶせて使う便袋を用意しましょう。

（例）トイレ用便袋（サニタクリーン）
高速吸水凝固シート付、20枚
2,592円（税・送料込み）

〈その他用意するもの（一例）〉

懐中電灯	カセットコンロ	アレルギー対応食品	処方薬（お薬手帳）	メガネ・コンタクトレンズ	ホイッスル

■防災用品をあっせんします

水・食料・トイレ用便袋（上記の例示用品など）、家具転倒防止金具、ホイッスル、ラジオなどを、区の契約業者から割安で購入できます。
▶**対象**　区内在住の人
▶**申込**　ハガキに必要事項（チラシ・HP参照）を記入し、契約業者へ直接郵送　※約1か月後に契約業者が直接配送します（代金引換）。

区は、阪神・淡路大震災発生の1月17日を「防災点検の日」と定め、震災に対する備えの一斉点検を行います。
東日本大震災では、区内でも**震度5弱**の揺れを観測し、家具の転倒、備品の移動、ガラスの飛散などの被害がありました。今後30年以内に70%の確率で発生するといわれている首都直下地震では、**震度6弱〜6強**の揺れが見込まれています。
家庭や地域の防災対策を点検し、自助・共助・公助が一体となった「災害に強いまちづくり」を推進しましょう。

1月17日(火)9:00に防災行政無線で、震災に対する備えを日本語と英語で呼びかけます

平成7年1月17日 阪神・淡路大震災(写真提供:神戸市)

担当者の声

区のサービスを利用して万全な防災対策を！

各種サービスの案内チラシは、渋谷ヒカリエ8階防災課や出張所で配布しています。
詳しくは区HPまたは防災課へ問い合わせてください。

区HP(防災のページ)▶

③ 避難先と避難ルートを確認する

自宅から避難する場合に備え、避難先と避難ルートを確認しましょう。発災時には、倒壊家屋や火災により、想定していたルートを通行できない場合があります。最低でも、2ルート以上を実際に歩いて確かめておくことが大切です。

■「渋谷区民防災マニュアル」で避難先を確認できます

大地震が発生したときに、的確な手順で避難するためのポイントなどを掲載しています。

- **一時集合場所**(区立公園や区立小中学校の校庭など)
  災害の状況を見極め、避難場所へ避難したりするために一時的に集合する場所
- **避難場所**(都立公園や大学の敷地内など)
  延焼火災やその他の危険から避難する場所
- **避難所**(区立小中学校など)
  家屋の倒壊や焼失などで被害を受けた地域の住民が、一時的に生活する場所

<27年7月発行>
防災課で配布しています(区HPでダウンロード可)

■「災害時要援護者」の登録ができます

①申し込んだ翌年度から「災害時要援護者名簿」に登録されます。
②名簿は、自主防災組織(町会)・民生児童委員・見守りサポート協力員に配付し、避難支援プランの作成を依頼します。
③災害発生時には、避難支援プランに基づき、避難支援者(=実際に支援する近隣住民など)を中心に要援護者の安否確認や避難支援を行います。

▶**対象**　区内在住で、自分や家族だけで避難するのが困難と思われる人
※「要介護度2以上の単身世帯」「身体障害者手帳2級以上の単身世帯」の人は、自動的に名簿に登録されます。
▶**申込**　登録申込書を防災課へ提出
※申込書は、防災課で配布(ファクス・郵送可)。詳しくは問い合わせてください。

首都直下地震における渋谷区の被害想定

(東京都防災会議「首都直下地震等における東京の被害想定」(24年4月公表)より)

揺れの大きさ

震度6弱〜6強の揺れが見込まれます	
6弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
6強	はわないと動けず、飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。

<想定の前提条件>
震源地　東京湾北部
時刻　冬の18:00頃(火気使用が最も多い時間帯)
風速　8m
規模　マグニチュード7.3(阪神・淡路大震災と同規模)

人的・物的被害

約250人が亡くなります	約5,000人がケガをします	ライフラインが停止します
建物倒壊による死者―約150人 火災による死者―約100人	建物倒壊による負傷者―約4,450人 火災による負傷者―約420人	電気　停電率―約28% ガス　供給停止率―約20% 水道　断水率―約38%

問 防災課災害対策推進係(☎3498-9409 FAX3498-9410)

第29回 くみんの俳句

入選作品紹介

65句の応募があり、入選作品5句が選ばれました。(敬称略)

天　開戦忌失いしもの忘れまじ　(神泉町・玉山和夫)

地　今日の日も旅の途中や去年今年　(幡ヶ谷・赤松政志)

人　水涕のいがぐり頭昭和の子　(初台・小嶋弥生)

佳作　除夜の鐘ライトアップの清水寺　(幡ヶ谷・池谷隆德)

佳作　若者のスペイン坂や街小春　(本町・高橋力女)

大高霧海 選評

天　第二次大戦が真珠湾攻撃で始まった12月8日に当たり、生命財産を奪う悲惨な戦争を忘れてはならないという。

地　人生を旅、自分を旅客と見て、上五中七の措辞と季語「去年今年」と照らしあって、掲句の核心を十分語っている。

人　戦時の回想句。「水涕のいがぐり頭」の子は戦時中に多く見られ、俳句の笑いがあり、漫画的である。

「くみんの俳句」を募集します

対象　区内在住・在勤・在学の人
選者　大高霧海氏
申込　2月10日(必着)までにハガキで(俳句・住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号を記入)、〒150-8010(住所不要)渋谷区役所広報コミュニケーション課へ
※俳句は1人3句まで、自作・未発表のものに限ります。必要に応じてふりがなをふってください。
※作品の著作権は作者に帰属しますが、区の使用については、承諾したものとして取り扱います。
※入選作品は、選者が一部添削する場合があります。
※入選作品は、区ニュース3月1日号に掲載予定です。

問 広報コミュニケーション課広報広聴係(☎3463-1287 FAX5458-4920)

“ちがい”を魅力にしていく、渋谷区の未来図。

新しい1年の始まり。女優の東ちづるさんをお迎えして、多様性、認め合い支え合う社会のあり方について話し合いました。

広島県出身。会社員生活を経て芸能界へ。ドラマ、司会、講演、出版など幅広く活躍。骨髄バンク、ドイツ平和村、アールブリュットなどのボランティア活動を25年以上続けている。一般社団法人「Get in touch」を設立し、代表としても活動中。

渋谷のラジオで出張インタビュー　女優・「Get in touch」代表　東（あずま） ちづるさん

長谷部：あけましておめでとうございます。

東：あけましておめでとうございます。

―― 2人が最初に会ったのはいつ頃ですか？

長谷部：お話をするようになったのは、2014年の超福祉展の時ですよね。

東：一番はじめはそうですね。

長谷部：私は、その前から東さんのことは存じ上げていましたよ。私はダイバーシティという言葉をこの街で掲げていて、東さんが活動されている「Get in touch（ゲット イン タッチ）」での、どんな状況や状態の人も排除しない「まぜこぜの社会」という提言にずっと共感していたんです。東さんには渋谷区はどんな街に見えますか？

東：上京したての頃、渋谷といえばファッションの街という印象でした。流行が生まれる場所だから、もともと多様は多様ですよね。でも、人は多いけど“まぜこぜ感”はそんなに感じていなかったです。ここ数年でグッと変わったなと思いますね。渋谷を見る私たちの目も変わって、渋谷区と一緒に活動できればと思うようになりましたし、住んでいる人たちの意識も変わってきていますよね。

長谷部：少しずつ変わってきているかなぁ。もともと個性豊かな人が多いですしね。

―― 東さんが「Get in touch」の活動を始めたきっかけを教えてください。

東：25年前、あるドキュメンタリーをきっかけに社会的な活動を始めたんですけど、テレビって人を感動させることはできるけど、社会に一石を投じることは難しいのかな？と感じたんです。ならば私は「テレビに出ている私」を活用しようと思って、ライフワークとして社会的な活動を始めました。そして2011年の東日本大震災の避難所、そこがまさに多様だった。普段外に出づらい、障がい者や難病患者、外国人が1つの場所に集まっていて。日頃から生きづらさを感じている人たちが、社会が不安に陥ったら、ますます追い詰められてしまうという現実を知ったんです。普段からつながっていないと、いざという時に支え合うとか絆とか、寄り添うって難しい。急にはできないんですよね。

長谷部：そうですよね。

東：それで、普段から多様を受け入れ、理解し、支え合う社会にしたいなって。ワクワクすることで人を集めて、そこで新しい人間関係を作ろうって。キーワードは「浅く、広く、ユルくつながる」。これが多様性への扉だと思っているんです。Get in touchでは、啓発という言葉を使わないで、アートや音楽、映像などワクワクすることで「まぜこぜの社会」を目指しています。

―― 昨年10月に策定された、渋谷区の新たな基本構想のキーワードは「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」ですね。

長谷部：私も福祉に触れた時に、混ざっていくことが欠けていると思ったんです。混ざるって、他者を認めること。自分とは違う人がいるということをみんながよく理解していかないといけない。今までは自分と違うと避けていたけど、その違う部分って自分にはないものだから、それを生かすことで街の力にできると思うんです。そういった発想が今まではなかったし、みんな行動に起こせていない気がしたので、あえて象徴的な言葉として「ちがいを ちからに 変える街。」と表現しました。ダイバーシティ、インクルージョンを違う言葉で表すとしたら、「ちがいを ちからに 変える街。」につながるのかなと思っています。

東：とってもわかりやすいですよね。違うことをマイナスに捉えている人が多いと思うんですが、それをアドバンテージに変えることができるはずです。

長谷部：この基本構想が行政の政策の全ての傘になって、3か年、10か年の計画を作っていくんです。「Get in touch」が目指している、みんなが「まぜこぜの社会」も、この傘があればもっともっと実現に近づくはずです。

東：こういう基盤がシェアできていると、普段、声をひそめている人も声を出しやすくなって、暮らしやすくなりますよね。

長谷部：究極のねらいは、渋谷区を好きになってもらうこと。区民はもちろん、ここで働きたい人、学んでいる人にも、この街に愛着を持ってもらいたいなって。それがシティプライドにつながっていくと思うんです。

―― 4月2日の「世界自閉症啓発デー」も、もっと広めていきたいですね。

東：国連が定めた世界自閉症啓発デーを Get in touch では「Warm Blue Day（ウォーム ブルー デイ）」と呼び、マイノリティー（少数者）の人をはじめ、さまざまな人に青色の物を身につけて、街を青色に染めるよう呼びかけています。自閉症のみならず、見えない人も、聞こえない人も、ダウン症の人も、車椅子の人も色とりどりの特性の人たちが街にいる。昨年参加した、あるご家族は「渋谷って、なんて優しい街なんだ」って感動したんですって。

長谷部：どんなところに感動したんですか？

東：「いろいろなマイノリティーの人たちがニコニコしてるから、渋谷が大好きになりました」って。「うちの子は不特定多数の人がいるとパニックを起こしやすいんだけど、ピースフルで、いいムードだったので平気でした」って。そんな声がいっぱいあったんですよ。

長谷部：本当ですか。すごくうれしいです。混ざることの価値ですよね。

東：「まぜこぜ」の状態って、居心地がいいんですよね、実はマジョリティー（多数者）にも。それこそ、マジョリティーなんて幻ですもんね。

長谷部：そうですね。マイノリティーの集まりがマジョリティーですからね。私はNPO法人でごみ拾い活動をしてきて、福祉に対する考えがガラッと変わった出来事がありました。知的障害のある子どもがその活動に参加していて、お母さんから涙ながらに感謝されたんです。「一緒にやっただけですから」って私が言ったら「それが大切なんだ」と。「今まではずっと手を差し伸べられることばかりだったけど、ごみを拾って、社会の役に立って、それは何事にも代え難い喜びなんだ」って言われてズーンと来ちゃって。混ざるっていうことだけで、こんなに変わるんだって。それもあって、今までの福祉の考え方を超えようっていう意味で「超福祉」という言葉を使い始めたんです。

東：正しい理解、正しい知識が必要っていうけれど、私はそれは難しいと思っています。当事者やその家族、関係者にならないと、知識や理解なんて深まらない。当事者同士でさえも、わかり合えないことは、いっぱいあるんです。一緒にいることで、いっぱい失敗して、いっぱい間違えて、それが気づきになっていくんだと思うんですよね。

長谷部：正しい、正しくないではなく、知っていくということですよね。

東：通じ合う瞬間もある。それで、「違うところもあるんだけど、違わないところのほうがたくさんある」って気づいていくんですよ。

長谷部：そうですね、確かに。“違わないところのほうがたくさんある”。名言ですね。

東：違うところを私たちは特化して、マイノリティーって言ってしまうけど、ほとんどは一緒なんですよね。

長谷部：車椅子の人も、障害者も街に買い物に来ているとか、景色になるのが大切かなと思うんですよ。そういうことをどんどん普及していきたいですね。

東：今年の4月2日は“景色”としていろいろな団体の人に街に出てもらいたいと思っています。これを機に、例えば、聴覚過敏のある自閉症の人が来たら「あ、BGMを下げればいいのか」って、みんながちょっとしたことに気づけるようになるといいですよね。

長谷部：渋谷の街がそうなるように、先頭切って頑張っていきますので、これからもよろしくお願いいたします。

東：よろしくお願いいたします。

東ちづるさんと区長の対談は1月3・10日「渋谷隣人祭り」で放送予定。

障害のある人も
子どもも高齢者も、
LGBTもみんな魅力的で、
そんな人たちが交わる
仕掛けをどんどんして
いきたいです。

渋谷区長　長谷部（はせべ） 健（けん）

「Get in touch」とは？　アートや音楽などを通じて、違うということをハンディにしない、どんな状況、状態でも誰も排除しない、「まぜこぜの社会」を目指す、マイノリティーPR・表現団体。2012年設立。　http://getintouch.or.jp/

「世界自閉症啓発デー」とは？　全世界の人々に自閉症を理解してもらうために、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが国際連合によって定められた。テーマカラーは癒し（いや）や希望を象徴する青色。「Get in touch」では、この日に青色の物を身につけて集うイベント「Warm Blue」を実施している。

※紙面に掲載している情報は、29年1月1日現在のものです。

問 広報コミュニケーション課広報広聴係（☎3463-1287 FAX 5458-4920）

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しぶや区ニュース（10分間）
月〜木 11:00／16:00／21:50
「しぶや区ニュース」の情報を発信します

渋谷隣人祭り（45分間）
火 11:15
渋谷区で活躍する様々な人が登場します

hello from Shibuya（30分間）
火 16:20
区内の外国人を招いて話を伺います

ラジオ しぶや区ニュース（区長の部屋ほか）（10分間）
金 11:00／17:00／19:50
長谷部健 渋谷区長が出演する場合もあります

 とは？

「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面をお届けしています。

渋谷のラジオ　周波数：87.6MHz FM　☆公式アプリでも聴取可能

住所｜渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階　TEL｜6712-6876
FAX｜5778-9620　E-MAIL｜info@shiburadi.com　HP｜https://shiburadi.com/

「天才バカボン」&「もーれつア太郎」50周年
赤塚不二夫祭“これでいいのだ!!”

50年以上にわたって愛され続けるギャグ漫画の天才・赤塚不二夫の作品とさまざまなジャンルのアーティストたちによる、赤塚ワールド全開の渋谷限定・春のお楽しみ公演なのだ!!

3月25日(土)17:00開演(16:20開場)
文化総合センター大和田4階さくらホール

▶**内容**
赤塚不二夫の好きなチャップリン映画音楽特集、ライブコラージュ、赤塚ワールドのコントなど
▶**出演**
山下洋輔、中村誠一、村上ポンタ秀一、五木田智央、宇川直宏、篠原勝之、山本晋也、安齋肇、しりあがり寿、ワハハ本舗ほか
▶**協力**
(株)フジオ・プロダクション
▶**構成・演出**
高平哲郎
▶**費用**
4,000円、高校生以下1,000円(全席指定)
▶**申込**
1月27日から下記でチケット販売
・チケットぴあ、ローソン、イープラス
・文化総合センター大和田3階ホール事務室
(10:00～19:00　土・日曜日、祝・休日は17:00まで)

<区民先行優待販売>
▶**期間**　1月15日から ※無くなり次第終了
▶**場所**　文化総合センター大和田3階ホール事務室
▶**費用**　2,000円、高校生以下500円(全席指定)
※区内在住・在勤・在学を証明できるものを持参

問文化総合センター大和田ホール事務室(☎3464-3252 FAX3464-3289)

1月14日(土)から 冬の新番組が始まります
コズミックフロント プラネタリウム版 ダークマターを探せ!

私たちの目に見える物質は宇宙でわずか5%にすぎません。残りは「存在するけれど姿形がわからない」謎のモノに占められています。それがダークマターです。
作品では、ダークマターを解明しようとする研究者に注目し、最先端の理論や世界初のダークマターの発見をめざす体制も紹介します。
監修:髙柳雄一
ナレーター:萩原聖人ほか

©2017 NHK
©渋谷区/NHKエデュケーショナル

投影スケジュール(1月14日から)

【平日】

時 間	内 容
13:00	BILLION SUNS
14:30	ダークマターを探せ! 新番組
16:00	Starry Music ～癒しの歌声 アルケミスト～
19:00	(火)ダークマターを探せ! 新番組
	(水)天の川をさぐる
	(木)ダークマターを探せ! 新番組
	(金)Starry Music ～癒しの歌声 アルケミスト～

【土・日曜日、祝日】

時 間	内 容
11:30	ファミリータイム 探検!ぼくらの銀河系 ～星のいのちをめぐる旅～
13:00	天の川をさぐる
14:30	BILLION SUNS
16:00	ダークマターを探せ! 新番組
17:30	Starry Music ～癒しの歌声 アルケミスト～
19:00	ダークマターを探せ! 新番組

▶**場所**　文化総合センター大和田12階
▶**定員**　各回120人
▶**費用**　600円、小中学生300円
※当日施設で観賞券を購入してください。
▶**休館日**　月曜日(祝・休日の場合は翌日)、1月10～13日
問コスモプラネタリウム渋谷(☎3464-2131 FAX3464-2148)

ノロウイルス食中毒に気をつけましょう

ノロウイルスは、冬に食中毒を起こす代表的なウイルスです。
感染後、通常24時間から48時間で、激しい下痢・腹痛・おう吐・発熱などの急性胃腸炎症状が現れます。

●どのように感染するの?
・感染者が調理したことで汚染された食品を食べて
・汚染された二枚貝などを、生または加熱不十分な調理で食べて
・感染者の便や吐物から人の手などを介して

●予防のポイント

①食品は中心部までしっかりと加熱
中心温度85～90℃、90秒間以上で感染力を失います。

②手洗いをしっかり
調理の前後、食事前、トイレの後、感染者の便や吐物の処理後は、必ず石けんで、ていねいに洗いましょう。

③調理器具や感染者の便・吐物で汚れたものは、洗浄・消毒
消毒は、加熱と塩素系漂白剤が効果的です。

問生活衛生課食品衛生係(☎3463-2253 FAX5458-4943)

渋谷区コミュニティバス
バス停 一時休止のお知らせ

イベント開催に伴う交通規制
ハチ公バス
丘を越えてルート(上原・富ヶ谷ルート)

日 時	休止するバス停
1月9日(祝) 12:00～17:00	「18富ヶ谷一丁目」「19神山」「20東急百貨店本店前」

※公園通りにある京王バスのバス停「渋谷区役所」を臨時に使用します。
問土木清掃部管理交通係(☎3463-1854 FAX5458-4908)

SHIBUYA's Life Information

くらしの情報

ハガキ・ファクスなどの記入例

希望講座・コース
①〒・住所※
②氏名（ふりがな）
③年齢
④電話番号
・その他必要事項

①〜④をすべて記入してください。
※在勤の人は勤務先・所在地、在住・在学の人は学校名（学年）・所在地を記入
・申込は原則1人1通
・往復ハガキの場合は、返信用の住所・氏名も記入してください。

日日程・時間　場場所・会場　内内容　講講師　対対象・資格（在住・在勤・在学は渋谷区内）　定定員・人数
費費用（記載なしの場合は無料）　持持ち物（特に必要なもの）　申申し込み・応募方法　問問い合わせ
HPホームページ　子ども向け　子育て世代向け　高齢者向け　電子申請で申込可

保健

パパ・ママ入門学級（休日編）

日2月25日㈯9:30〜11:30、13:30〜15:30（いずれかを選択）
内講演、沐浴（もくよく）実習、妊婦体験など
対在住で第1子を妊娠している人（16週以降）とパートナー
※既受講者を除く
定各20組（先着）
申1月16日から電話で
場・問幡ヶ谷保健相談所（☎3374-7591 FAX3374-5985）

▲沐浴（赤ちゃんのおふろ）実習

休日歯科診療

●渋谷区口腔保健支援センター プラザ歯科診療所（☎5466-2770、ひがし健康プラザ内）
●休日歯科応急診療所（指定歯科医院）の案内
㈰・㈷・㈫9:00〜17:00
◆下記の「区役所もしもしサービス」「ひまわり」で案内しています。

休日・夜間の急病に

○休日・夜間診療
• 区民健康センター桜丘（☎3464-3478、文化総合センター大和田）
㈯19:00〜22:00、㈰・㈷・㈫9:00〜22:00
※9:00〜19:00は内科・小児科
※19:00〜22:00は内科（小児も受診可）
調剤薬局（☎6416-0458）あり
• 休日診療所（当番制2か所9:00〜17:00）の案内は区役所もしもしサービス◆（☎3463-1211）9:00〜21:00
○病院案内（通年・24時間）
• 渋谷消防署（☎3464-0119）
○救急車を呼ぼうか迷った時は（通年・24時間）
• 東京消防庁救急相談センター（#7119または☎3212-2323）

◆都の医療機関案内「ひまわり」◆（☎5272-0303、聴覚障害者専用FAX5285-8080）
• HPhttp://www.himawari.metro.tokyo.jp/
• 医療機関案内 通年24時間
• 医療についての相談 ㈪〜㈮ 9:00〜20:00（祝日、1月3日までは除く）

催し物

ひがし優（ゆ）っくりカフェ

日1月9日㈷14:30〜16:00
内ダンスを交えた健康体操
対在住の人
費300円（飲食代）
申電話・窓口で
場・問ひがし健康プラザ高齢者在宅サービスセンター（☎5466-2681 FAX5466-2682）

区民書道展

日1月17日㈫〜22日㈰9:00〜19:00（22日は16:00まで）
場・問幡ヶ谷社会教育館（☎3376-1541 FAX3375-9278）、上原社会教育館（☎3481-0301 FAX3481-0302）

障害者スポーツ大会を観戦しよう

▲今年で第2回となります

日1月29日㈰8:00〜12:30
場神宮外苑周辺公認コース
内日本ID（知的障害者）ハーフマラソン選手権大会の観戦、障害者スポーツのルール・見どころなどの解説
対在住・在勤・在学の人
申1月20日（必着）までにハガキまたはファクスで（記入例のほか参加人数）、〒150-8010（住所不要）渋谷区役所商工観光課オリンピック・パラリンピック推進主査へ
問商工観光課オリンピック・パラリンピック推進主査（☎3463-1849 FAX3463-3528）

創業支援交流会

日1月31日㈫18:30〜20:30
場商工会館
内起業家によるパネルディスカッションなど
対区内で創業予定の人、創業して5年以内の人
定50人（先着）
申1月10日からメールで ※電子申請可
問商工観光課商工観光係（☎3463-1762 FAX3463-3528 ✉syoko@city.shibuya.tokyo.jp）

講座・教室

明るい選挙啓発講座

日1月17日㈫13:30〜15:00（13:00開場）
場美竹の丘・しぶや
内選挙と最近の政治情勢について
講NHK解説委員　安達宜正氏
対在住・在勤の人　定100人（先着）
申当日会場で
問選挙管理委員会事務局（☎3463-3115 FAX5458-4945）

相続対策セミナー

日1月25日㈬14:00〜16:00
場勤労福祉会館
内相続税の基礎知識、生前贈与の活用法など
講相続贈与相談センター理事　大園昌典氏
対在住・在勤の人
定35人（先着）
申1月10日から電話で
問渋谷区勤労者福祉公社（☎・FAX3780-0878）

児童青少年センター フレンズ本町

工作教室

	日時	内容
①	1月18日㈬ 14:30〜16:30	ニンジンのネガポジ画 オイルパステルなどで描く
②	1月20日〜2月10日の㈮ 16:00〜17:30	はじめての編み物教室（全4回） かぎ針編みの基本とマフラーの制作
③	1月22日㈰ 17:00〜19:00	リンゴの量感画 実物を観察し、独特な手法で描く

講①・③五感ぐるぐるかきくけこ
②デザイナー　斎藤敦子氏
対①小学生〜高校生
②小学校4年生〜高校生
③小学生5・6年生〜高校生
（小学生は保護者同伴）
定各10人（先着）
申1月10日から電話・窓口で

▲ニンジンのネガポジ画

音楽教室

日時	内容など
1月11・18日㈬ 15:30〜17:30	楽器とふれあおう（ギター・ドラムの使い方）
1月14日㈯・29日㈰ 15:00〜18:00	ギター 持ギター（貸出あり）、弾きたい曲の楽譜 講ギタリスト　細川雅史氏

※入退場自由
対小学校3年生〜高校生　定各6人（先着）
申当日会場で

ローラースケート教室

低学年タイム
日1月11・18・25日㈬15:40〜16:20
対小学校1〜3年生　定各15人（先着）
初心者限定タイム
日1月14・21日㈯10:40〜11:20
対小学生〜高校生　定各10人（先着）
親子ですべろう
日1月29日㈰10:00〜10:40、10:40〜11:20
対小学生以上と保護者　定各5組10人（先着）
<共通事項>
※悪天候は中止　持靴下、タオル、飲み物
申当日会場で

場・問児童青少年センター フレンズ本町（☎3377-5160 FAX3377-5162）

知的障害のある人との接し方講座

日2月4日㈯10:30〜15:30
場総合ケアコミュニティ・せせらぎ
内講義、知的障害のある人と昼食・お出かけ
費500円（昼食代）
申電話・窓口で
問しぶやボランティアセンター（☎5790-0505 FAX5790-7521）

例年掲載している記事は、その年によって掲載時期が異なる場合がありますので、ご注意ください。

庁舎アクセス

A 渋谷区役所仮庁舎（第1～3）
〒150-8010 渋谷1-18-21

B 渋谷区役所美竹分庁舎
〒150-0002 渋谷1-2-17

C 渋谷区防災センター／区民サービスセンター
〒150-8510
渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ 8階

D 渋谷区役所神南分庁舎
〒150-0042 宇田川町5-2

E 文化総合センター大和田
〒150-0031 桜丘町23-21

お知らせ

古着とふとんの回収

日 1月29日㈰10:00～12:00
場 恵比寿社会教育館

常設回収

日時	会場
㈪～㈮　8:30～17:15	渋谷区清掃事務所
㈫～㈰　9:00～17:00	本町リサイクルセンター
㈪　10:00～12:00	清掃事務所旧代々木分室

回収できるもの
※再使用できるものを袋に入れて持参
きれいに洗濯された衣類（着物可）、ふとん（中が綿または化織）、毛布、タオル、靴・スニーカー・サンダル（左右そろっているもの）、ぬいぐるみ、ベルト、バッグ、帽子

回収できないもの
※シミ・カビなどの臭い・油汚れ、破損などのあるもの
羽毛布団、座布団、こたつ布団、枕、マットレス、長靴、カーペット、雑貨・おもちゃ、ゴルフバッグ、ランドセル、車輪付きバッグ
問 清掃リサイクル課リサイクル推進係
（☎5467-4073 FAX5467-4076）

「渋谷区公共施設等総合管理計画」を策定しました

区の公共施設などを長期的な視点をもって総合的かつ計画的に管理するための計画です。
閲覧場所 区役所仮庁舎第1庁舎3階区政資料コーナー、出張所・区民サービスセンター、図書館
※区HPで閲覧可
問 経営企画課基本計画担当主査
（☎3463-1589 FAX5458-4973）

平成28年熊本地震災害義援金を受け付けています

28年4月に熊本県で発生した地震により被災された皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。
区では被災された皆様への支援のための義援金を引き続き受け付けています。お預かりした義援金は、日本赤十字社または熊本県を通じて被災された皆様へ送り届けられます。
皆様の温かいご支援をお願いします。
受付期間 3月24日㈮まで
受付場所
・区役所仮庁舎第1～3庁舎受付
・出張所・区民サービスセンター
・文化総合センター大和田
問 総務課総務係
（☎3463-1307 FAX5458-4922）

募集

渋谷区職員（栄養士）Ⅰ類

第1次選考日 1月21日㈯
受験資格 昭和62年4月2日以降生まれで、管理栄養士免許を有する人
※詳しくは募集案内をご覧ください。
採用予定数 若干名
申 1月12日（消印有効）までに所定の申込書に必要事項を記入し、〒150-8010（住所不要）渋谷区役所職員課人事係へ郵送、または1月13日までの9:00～17:00に持参
※募集案内・申込書は区役所仮庁舎第1庁舎3階職員課人事係で配布、区HPでダウンロード可
問 職員課人事係
（☎3463-1379 FAX5458-4987）

相談

土曜発達相談会

日 1月21日㈯9:00～17:00
内 発達や育児の不安・悩みなど
対 在住の未就学児と保護者　申 1月20日までに電話で
場・問 子ども発達相談センター
（☎3405-9658 FAX3405-9666）

認知症相談会

日時	会場・申込
1月25日㈬13:30～16:00	ケアコミュニティ・原宿の丘（☎3423-2112）
2月16日㈭14:00～16:30	ケアステーション本町（☎5334-9977）

内「最近物忘れがひどくなった」などの悩み相談
相談員 渋谷区医師会医師
対 在住で認知症の心配がある人とその家族（本人・家族のみでの相談可、家族は区外在住可）
定 各3人（先着）
申 1月10日から地域包括支援センターへ電話で
問 高齢者福祉課認知症施策推進主査
（☎3463-1890 FAX3463-2873）

耐震相談会

日 1月26日㈭14:00～16:00（1人30分程度）
場 区役所仮庁舎第3庁舎3階紛争調整室
申 1月25日までに電話で

●木造住宅の耐震診断を行なっています
区が無料でコンサルタント（建築士）を派遣します。
対 所有者またはその家族が居住している木造住宅など（昭和56年5月31日以前に建築工事に着手したもの）

問 まちづくり課防災まちづくり係
（☎3463-2647 FAX5458-4918）

施設のイベント情報

いずれの施設も月曜日（祝・休日の場合は翌日）は休館です。施設によって入館料が異なります。入館は閉館30分前まで。詳しくは問い合わせてください。

郷土博物館・文学館

場 東4-9-1（〒150-0011）
☎3486-2791 FAX3486-2793

◎特別展
内田康夫と渋谷
幡ヶ谷で誕生したミステリー作家・内田康夫の文学の魅力を探る
日 1月22日㈰まで
・担当学芸員による展示解説
日 1月21日㈯
14:00～14:30
申 当日会場で

▲代官山同潤会アパートが描かれた『不知火海』

松濤美術館

場 松濤2-14-14（〒150-0046）
☎3465-9421 FAX3460-6366

◎セラミックス・ジャパン
陶磁器でたどる日本のモダン
日（前期）1月9日㈷まで
（後期）1月11日㈬～29日㈰
・講演会「デザインありてこそー焼物から窯業へ」
日 1月15日㈰14:00から
講 本展監修者　森仁史氏
定 80人（先着）
申 当日会場で
◎館内建築ツアー
日 1月13・20日㈮
18:00から
申 当日会場で

〈タイル〉淡陶㈱ほか
明治時代末期～昭和時代初期　個人蔵

ふれあい植物センター

場 東2-25-37（〒150-0011）
☎5468-1384 FAX5468-9385

◎企画展
・落ち葉プールであそぼう
日 2月12日㈰まで
◎イベント
・おはなし植物園：鉢植えの話
日 1月18日㈬15:00～16:00
対 4歳以上の人　定 15人（先着）
申 1月11日から電話で
◎講座・実習
・河津バガテル公園式バラの栽培方法：冬編
日 1月22日㈰13:30～15:30
講 河津バガテル公園園長　山本健生氏
対 中学生以上の人　定 30人（先着）
申 1月11日から電話で

ハガキ・ファクスなどの記入例は、9ページをご覧ください。

官公署など

千代田区立神田一橋中学校 通信教育課程の生徒募集

選考日2月12日(日)10:00から
対都内在住・在勤の人ほか
定40人（選考）
申1月12日～2月10日（消印有効）に願書を神田一橋中学校（〒101-0003千代田区一ツ橋2-6-14）へ郵送・持参
※詳しくは問い合わせてください。
問神田一橋中学校（☎3265-5961）

温水プール 個人利用

利用時間9:00～22:00（休館日を除く）
場国立オリンピック記念青少年総合センタースポーツ棟（代々木神園町3-1）
費420円、中学生以下160円（2時間まで）
※詳しくはHPをご覧ください。
問国立オリンピック記念青少年総合センター（☎3469-2525）

不動産、会社などの登記事項証明書の取得はインターネットが便利でお得です

インターネット請求の場合、郵送（送料込み）は500円、窓口受取は480円で取得できます。
※申請方法など詳しくは法務局HPをご覧ください。
問東京法務局渋谷出張所（☎3463-7671）

区民のコーナー

区民の皆さんの自主的な団体活動の紹介です。
内容などは直接問い合わせて利用してください。

社交ダンス（プロ・カップル歓迎、ベーシックから）月4回の日曜日 13:00～17:00／上原社教館／会費月1,000円／090-8812-6934 下野

社交ダンス（基礎・基本から）月曜日 19:00～20:30／はつらつセンター幡ヶ谷／入会金1,000円／会費月2,000円／090-4932-1595 石村

ストレッチ・脳活体操（初心者歓迎、1か月間無料体験あり）木曜日 9:50～11:00／スポーツセンター／会費月2,500円／3468-4458 武原

登山とハイキング（初心者歓迎・原則75歳未満対象）登山・ハイキング＝各月1回（日帰りまたは1泊2日）集会＝第3水曜日18:30から／幡ヶ谷社教館／入会金1,000円／会費年3,600円／保険料など実費／3376-6547 左座

新春クロスワードパズル

新年から頭の体操をして1年間元気に過ごしましょう

ふるさと渋谷フェスティバル

LGBTを支援する代表的なモチーフ

区の花・ハナショウブ

ヒント：28年10月新たに策定しました

あ	い	う	え	キ	ホ	お	か	き	ソ	く

本年も しぶや区ニュースを よろしくお願い します

答えは区ニュース1月15日号に掲載する予定です

〈よこ〉
1　29年11月で開催40回目を迎える渋谷のフェスティバル「渋谷区くみんの●●●」
3　しぶや区ニュースで催し物・講座・スポーツなどをお知らせするコーナー「●●●の情報」
6　世界中から人が集まる渋谷駅前の有名な交差点「●●●●●●交差点」
8　柔道などの武道において初心者が締める帯の色
10　根菜の1つで、別名スズナは春の七草に数えられます
11　あんぱんの上についているのは「●●の実」
12　区はLGBTの●●●（支援者、理解者）であることを表明するバッジを身につける取り組みをしています
13　正月といえば、凧揚げと●●回し
15　代々木公園に隣接する●●●神宮には、毎年多くの参拝者が初詣に訪れます
16　健康づくりには、適度な●●●●が大切です
18　28年にオリンピック・パラリンピックが開催されたブラジルの都市（略称）
19　ヨーロッパの国、首都はベルン

〈たて〉
1　渋谷区東にある、福祉・保健・医療・スポーツなどの複合施設は「●●●●●●●プラザ」
2　28年に新宿駅南口前に完成した交通ターミナル「●●タ新宿」、所在地は渋谷区千駄ヶ谷です
3　音楽やダンスを楽しむ社交場、少し昔はディスコ
4　3月に行われる表参道をメインコースとしたマラソン大会「渋谷ウィメンズ●●」
5　28年4月に開局した渋谷の地域コミュニティFMの名称
7　俳句を作る集まり、重要文化財旧朝倉家住宅でも、ときどき行われます
9　液体をこす紙、主にろ過するときに使用します
12　区の花・ハナショウブを英訳すると
14　袖なしの羽織物、映画やアニメのヒーローなどがアイテムとして着用しています
17　もちつきに使う道具です、●●と杵

問広報コミュニケーション課広報広聴係（☎3463-1287 FAX5458-4920）

vol.08 渋谷ぐるっとまちめぐり 代官山エリア

このコーナーでは、まち歩きにぴったりな渋谷区のおすすめスポットをエリアごとに紹介していきます。

猿楽塚　代官山ヒルサイドテラス内

猿楽町

区指定文化財。古墳時代末期の円墳で、2基の築山のうち高さ5mほどの大型墳が、昔から猿楽塚と呼ばれていました。この塚が「猿楽町」の地名の起源といわれています。

猿楽古代住居跡

猿楽町

区指定文化財。昭和52年、弥生時代後期の竪穴式住居跡や土器の破片が発掘され、中でも住居跡は、ほかの地域で見られるものより大型で珍しいものもありました。現在は、猿楽古代住居跡公園として親しまれています。

1月9日は成人の日

新成人の皆さん おめでとうございます

渋谷の二十歳にインタビュー！

1月9日（祝）に開催する「新成人を祝う会」実行委員会の皆さんに、二十歳を迎えた感想・夢などを伺いました。

土屋実央さん
人の気持ちを理解でき、あいさつできるなど常識ある大人になりたいです。いろいろな人が笑顔になれる仕事をしたいです。

酒井秀哉さん
二十歳になりお酒が飲めてうれしいです。今は学業に専念し、将来は人にエンターテインメントを届けられる仕事をしたいと思っています。

吉村奏恵さん
大人の仲間入りをしたことに、うれしさと不安の両方があります。自分から行動でき、時間をうまく使える人になりたいです。

川上美央さん
今後、国内旅行でいろいろな所に行ってみたいです。自分で決めたことを実現できる人になりたいと思います。

山下安里紗さん
二十歳を迎えられて幸せです。明るくまっすぐな女性になりたいです。勉強します、今から、まじで！！

大出真由さん
もう自分が成人式を迎えるときか～と不思議な感じです。ジュエリーデザイナーになるために、デザインと製作の腕を上げ、就活をがんばります！

ファム クオク ミさん
せっかく日本に留学しているので、日本語と、日本人の協力し合う姿勢をしっかり学びたいです。ベトナムに帰国したら父親の会社を大きくしたいです！

國司 葵さん
神職になるのが夢です。神楽舞をがんばります。怒るより叱れる大人になりたいです。

●今年度二十歳を迎えるのは
平成8年4月2日～平成9年4月1日に生まれた人で、渋谷区では、1,481人います（28年12月15日現在）。

●皆さんが生まれた年の主な出来事・流行は
「Yahoo! JAPAN」サービス開始（8年4月）／アトランタオリンピック開催（8年7·8月）／海の日施行（8年7月）／東京オペラシティ開業（8年8月）／たまごっち発売（8年11月）／消費税率を5%に引き上げ（9年4月）／ルーズソックス、アムラーファッション（茶髪、ロングヘア、細い眉、厚底の靴、ミニスカート）、裏原宿スタイルが流行

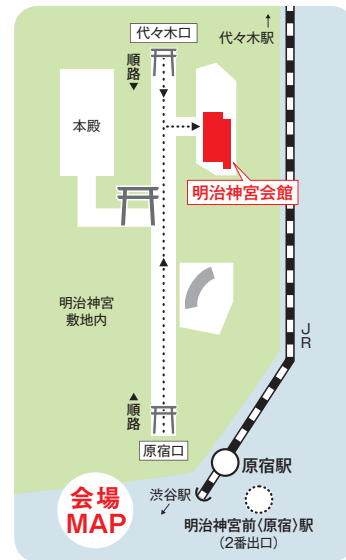
新成人を祝う会

▶**日時**　1月9日（祝）13:30から（13:00開場）
▶**会場**　明治神宮会館（代々木神園町1-1 明治神宮境内）
▶**対象**　区内在住で平成8年4月2日～平成9年4月1日に生まれた人

対象者には11月下旬に案内状ハガキを郵送しましたので、当日持参してください。案内状が見当たらない人は、年齢を確認できるもの（運転免許証など）を持参し、会場受付に申し出てください。

▶**記念品**　USBメモリ　※出席できない人は、1月10～31日に案内状ハガキを持参し、区役所仮庁舎第1庁舎2階子ども青少年対策課青少年育成係で受け取ってください。

◆第1部
記念式典
・講演（青山学院大学 陸上競技部監督　原 晋）
・新成人の意見発表
・渋谷区青少年吹奏楽団 コンサートなど
※手話通訳あり

◆第2部
アトラクション
・平井 大ライブ

問子ども青少年対策課青少年育成係（☎3463-2578 FAX5458-4942）